

日本一の湖「びわ湖」を通して、水環境、歴史・文化、生き物を学ぶ。

びわ湖は、面積約670km²、周囲約235km、深さは平均で約41m、最も深い所では約104mもあり、約275億m³もの貯水量で、京阪神の水がめとして1,400万人の暮らしと産業を支える〈日本一の湖〉です。また、400万年以上の歴史を持つ世界でも有数の古代湖でもあり、ホンモロコなど50種以上の固有動植物が息づく自然の聖地として“母なる湖”とも呼ばれています。周辺では現在、美しく豊かな自然に恵まれた、このかけがえのない湖を後世の人々に残すための様々な取り組みが続けられています。「megumi びわ湖環境体験学習」は、観察・実験を通して、水環境、歴史・文化、生き物等について体験しながら、みんなで考え楽しく学んでいただける学習クルーズです。



主に使用する環境学習器材



PLAN 1 びわ湖の水を調べよう

- (ねらい)
- ①びわ湖の水を採取し、自分自身の五感や器材を使って、水質を調べます。
 - ②びわ湖について知り、水環境の保全にみんなで参画することが大切であることを学んでいただきます。

PLAN 2 びわ湖と歴史

- (ねらい)
- ①湖上から湖岸の景色を眺めながら、歴史・文化等の解説を聞いたり、湖上から湖岸の眺めをスケッチします。
 - ②歴史環境継承のために、私達に何が出来るかを考えます。

PLAN 3 びわ湖の生き物 「プランクトンを観察しよう」

- (ねらい)
- ①琵琶湖で採取したプランクトンを顕微鏡で観察し、生き物の宝庫であることを学習します。
 - ②水環境の保全について自ら進んで参画することが大切であることを学んでいただきます。

PLAN 4 びわ湖環境についての講話 環境NPO団体による環境に関する講話

- テーマ
- ①水の音から聞くびわ湖環境
 - ②びわ湖環境とホテル
 - ③びわ湖環境と湖魚の生態



※PLAN4につきましては、船上での講話のみになります。

○所要時間：1プログラム 基本50分 ○場所：船上 ○定員：40～80名 ○季節：通年 ※天候等により内容を変更する場合があります。

学習進行内容

導入



出港

- (オリエンテーション)
- びわ湖の簡単な説明
 - 班作りをする



展開

PLAN 1
びわ湖の水を採取し、水質の状況を調べる。
水温、透明度、pH、CODを調べる。

PLAN 2
湖上から湖岸を眺め、歴史についての説明を聞く。
びわ湖の景色をスケッチする。

PLAN 3
プランクトンの採取。
プランクトンを肉眼や顕微鏡で観察し、
スケッチする。

まとめ



- 習熟度チェック
- 学習ノートを完成させる

着船



草津烏丸半島

草津市の最北、烏丸半島周辺には、びわ湖の原風景といわれるヨシ原が今もその姿をとどめています。半島では、自然環境の保全をモチーフにした「水生植物公園みずの森」、「琵琶湖博物館」、「UNEP(国連環境計画)国際環境技術センター」があり、水環境の保全に関わるノウハウと情報を世界に向けて発信する拠点となっています。



「植物と人、水と人のふれあい」をテーマにした植物公園。様々な水生植物の生態を知ることができ、また様々な野鳥や水鳥を観察することができます。



琵琶湖博物館
びわ湖と暮らしの歴史、固有の動植物、現在の環境保護の取り組みなどを分かりやすく知ることができます。



<交通のご案内> ●JR琵琶湖線「草津駅」下車 バスで約25分(琵琶湖博物館前)下車
●名神高速道路栗東ICから約25分
●大津港から草津烏丸半島港まで船舶利用で約30分

※上記のPLANから1つ選んで頂けます。※PLAN4につきましては、船上での講話のみになります。